# 平成28年3月改訂 富山県版総合戦略「とやま未来創生戦略2016」

- ポイン
- ① 策定以降の幅広いご意見と新年度予算を反映して各種施策を「深化」
- ② 平成27年度に策定した県の「観光振興戦略プラン」「地域交通ビジョン」等を反映
- ③ 地域部会での議論をふまえ地域ごとの特性を活かして推進する施策を提示 など

県民の知恵と力を結集し 戦略「策定」から「実行」へ!

#### 人口減少自体への対応

#### 基本目標 1

結婚・出産・子育ての 願いが叶う環境整備

自然減の歯止め

#### 基本目標 2

産業振興、*若者等*の 雇用創出、*観光振興*、 *県内への*移住促進

社会増への転換

## 人口減少社会への適応

#### 基本目標 3

女性・高齢者など 多様な人材の確保と 労働生産性の向上

労働力不足への対応

# 基本目標 4

活力あるまち・ 健やかな暮らし・ 未来を担う人づくり

地域の総合カアップ

#### 数 値 目 標 (平成31年)

県民希望出生率 「1.9」を目指す 「H26] 1.45

[H26] 1.45 [H52] 2.07

> 転入超過を 目指す!

若者・女性(15-34歳)の 転入増・転出減を目指す [H25] 1,550人 「H31] 移動均衡

人口の社会増を目指す [H26] △1, 147人転出超過 [H31] +100人転入超過 1人当たり県民所得の 維持・向上を目指す

> 県民所得 [H24] 307.7万円 [H31] 維持·向上

健康寿命の延伸 「H22」里 70.63歳 女 74.36歳

[H22] 男 70.63歳、女 74.36歳 [H31] 男 72.74歳、女 76.32歳

将来も<mark>富山県に住みたいと</mark> 考える<mark>高校生</mark>割合 [H22] 56.9% [H31] 60 %

【具体的施策】130 【重要業績評価指標/KPI】182→200

[H36] +200人を目指す

〈PDCAサイクル確立〉

## 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

#### 施策の具体例

## **項目①** 結婚から子育でまで切れ目のない支援による少子化対策の推進

- 結婚を希望する男女の出会いの場の提供、ライフプラン教育の充実
  - **, とやまマリッジサポートセンター**や **関係団体のネットワーク形成**による結婚支援
  - ・結婚・出産・子育ての喜びを若者に伝える



- 妊娠、出産、健やかな 子どもの成長のための環境整備
  - ・産前・産後ケアの充実や周産期保健医療 体制の整備
  - ・不妊症治療費助成の拡充など 不妊症・不育症対策の推進

- 多様な保育・子育て支援サービスの充実や 子育て支援人材の育成
  - ・特別保育(病児・病後児保育、延長保育)、 放課後児童クラブなどの支援体制の充実
- 子育て家庭の経済的負担の軽減
  - ・第3子以上の保育料の無料化
  - 三世代同居・多子世帯向け住宅取得等への支援 (不動産取得税減免の拡充・融資無利子化)
- 社会全体での子育て支援の機運醸成
  - ▶第4子以上の誕生お祝いなどによる気運醸成
- 仕事と子育ての両立支援に向けた 職場環境の整備促進

夫31.0歳、妻29.2歳 ⇒ 1 歳程度引き下げる

・企業子宝率調査の活用や一般事業主行動計画 の策定など働きやすい職場環境の整備

主な K P 平均初婚年齡

病児•病後児保育実施箇所数

とやま子育て応援団の利用度

82箇所 ⇒ 130箇所

 $53.7\% \Rightarrow 70\%$ 

## 基本目標2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

項目② 産業・地域経済の活性化

項目③ 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり

項目④ 観光の振興、定住・半定住の環境づくり

若者と観光を 特出しする 表現に!

# 施策の具体例

な

K

- ■「薬都とやま」の産業集積を活かした ライフイノベーションの推進
- →産学官連携で医薬品関連産業の活性化・販路開拓
- 最先端ものづくり産業の育成
  - ・県内企業の連携強化による取引の循環・共同開発、 IoTの導入促進による生産性の向上
- 新幹線時代の積極的な企業誘致活動
  - ▶ビッグデータを活用した積極的・重点的な企業誘致
  - 地方創生推進資金[県内進出・本社機能等強化 支援枠]の創設による本社機能等の移転促進
- 政府関係機関等の移転 (H28.3.22基本方針)
  - ・医薬品医療機器総合機構の支部・研修所 設置など

- 農林水産業の競争力強化(TPP対策など)
  - ▶農林水産物等の輸出促進による成長産業化・体質強化
- ・とやまの魚のトップブランド化、高付加価値化
- 県立大学の充実と若者の地元定着
  - · 全国初医薬品工学科新設、学科拡充、**看護学部**設置
  - ・インターンシップや県内企業PRによる県内就職促進
- 選ばれ続ける観光地づくり・ブランドカアップ
  - ▶ 日本版DMO整備や訪日旅行・富山旅行センター
  - ▶日本橋とやま館での首都圏での戦略的情報発信
  - ・世界で最も美しい富山湾の国際的ブランドカ向上
- 定住・半定住の促進
  - ・北陸3県連携定住ツアーや空き家活用など移住者の 受入促進

新農林水産物の輸出に取組む事業者数

新人口の社会増減数(全世代)

新 観光消費額(観光振興戦略プラン)

17社  $\Rightarrow$  30社

△1,147人転出超過  $\Rightarrow +100$ 人転入超過

1,292億円 ⇒ 2,067億円

3

## 基本目標 3

## 女性・高齢者など多様な人材確保と労働生産性の向上

項目5 女性が輝いて働ける環境づくり

項目6 高齢者等が能力を発揮、活躍できる社会の実現

項目(7) 多様な人材の確保と労働生産性の向上

#### 施策の具体例

- 企業等における女性の活躍促進や 女性人材育成の推進
  - ・企業・経済団体等と連携した 女性が活躍しやすい環境づくり
  - 煌めく女性リーダー塾の開催、 女性が輝く元気とやま賞表彰



- 男性の家事・育児・介護等への参加
  - ・長時間労働の見直しなど男性の働き方改革
- 女性の再就職等支援
  - ・ものづくり分野への女性の就業促進
  - 女性の職域拡大・スキルアップのための職業訓練
- 元気な高齢者が活躍するための支援
  - ・とやまシニア専門人材バンクやエイジレス人材育成

- ものづくり・観光分野等での人材育成
  - 官民連携による人材の掘り起こし・育成
  - **▶ものづくり人材、グローバル人材**の育成支援
- 外国人留学生の受入・定着の促進
  - ・アセアン地域等からの外国人留学生受入れ拡大
- 生産性の向上と産業の高度化支援
  - ▶ IoTの導入促進による生産性の向上
- ものづくり・ICT技術等を活用した

生産性の高い農業の展開

**▶チューリップ球根**栽培用ロボット開発 や薬用シャクヤク生産機械化など 省力栽培技術・作業体系の確立



▶ ICTなどを活用した次世代施設園芸

研究者・技術者における女性の割合

アセアン地域からの留学生受入数

農業産出額

19人/年  $\Rightarrow 24$ 人/年

 $11.8\% \Rightarrow 14.1\%$ 

643億円 ⇒ 698億円

## 基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

項目8 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり

項目 9 健康で安心して暮らせる社会の形成

項目10 地域を担う人づくり

より具体的で わかりやすい 表現に変更!

#### 施策の具体例

- 地域公共交通ネットワーク
  - コミュニティバス・デマンド運行など市町村交通ネットワーク充実や再編を支援
  - ▶あいの風とやま鉄道の新駅設置・駅舎利用推進
- 健康寿命日本一推進プロジェクト
  - ・健康づくりを**県民運動**として展開するため、 健康寿命日本一推進会議を設置
  - ・民間企業等の健康づくり活動を支援
- 安心で質の高い医療サービス提供体制の整備
  - ・県立中央病院先端医療棟の整備
  - ・ドクターへリの共同運航
  - ・認定看護師の養成、テレワーク型訪問介護

- 地域ぐるみで支え合う仕組みづくり
  - 富山型デイサービス、ケアネット活動など共生社会の形成
  - ・介護人材の移住促進や介護予防の推進
- 快適な環境づくり、安全・安心の確保
  - ▶地域住民が取組む空き家対策への支援
  - 高齢者の交通事故や特殊詐欺被害の防止
- 世界に誇ることのできる質の高い文化
  - ・富山県美術館の開館に向けた広報・PR
  - ▶ 利賀芸術公園を中心とした舞台芸術拠点づくり
- ■未来を拓く人材育成
  - ・**高校生の議会体験や中学生の放課後学習支援**など 地域活動を通じて社会性や豊かな心を育む
  - ▶産業教育の推進による地域を支える職業人の育成

新幹線鉄道の最大運行間隔短縮(地域交通ビジョン)

新認定看護師数

新 20代前半の投票率

1.5時間から2時間程度 ⇒概ね 1 時間程度

158人  $\Rightarrow$  300人

21.7% ⇒ 増加させる

## 〈参考〉戦略策定(H27年10月)以降の動き

平成27年12月~ 国の予算等への反映

- 国「まち・ひと・しごと創生戦略」の改訂
- 地方創生加速化交付金、新型交付金創設
- ・過去最大規模の地方一般財源総額の確保
- 地方拠点強化税制の見直し
- 政府関係機関の地方移転に向けた検討など

平成27年10~12月 とやま未来創生タウンミーティング(3ヶ所)

平成28年1月 3つの地域部会、とやま未来創造県民会議

平成28年3月まで 主要プラン、ビジョン等の制定・改訂

H 28年 3月

とやま未来創生

戦略改訂

- ① 策定以降の幅広いご意見と新年度予算を反映して各種施策を「深化」
- ② 県の「観光振興戦略プラン」「地域交通ビジョン」などを反映
- ③ 地域部会での議論をふまえ地域ごとの特性を活かして推進する施策を提示など

PDCAサイクル 確立

【効果的な戦略展開】

- ・県議会や県民会議など幅広いご意見をお聴きして戦略を策定
- D 戦略に盛り込まれた平成31年度までの具体的な施策を実施
- C 施策ごとに設定した指標/KPIで進捗状況を客観的に評価・検証

▲ 評価・検証の結果などをふまえて必要な施策見直し

(PLAN)

[ DO ]

[CHECK]

[ ACTION ]